２０２５年（令和７年）２月
兵庫県老人クラブ連合会

２０２５年度（令和７年度）事業計画

第１　基本方針

兵庫県老人クラブ連合会（以下「県老連」という。）は、“楽しくなる・夢中になる・笑顔になる”の活動スローガンのもと、市町老人クラブ連合会・ブロック連絡協議会と一体となって、下記の諸事業に鋭意取り組み、高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりを一層増進して『生活を豊かで楽しいもの』としていく。

また、併せて、高齢者が有する豊富な知識・経験を生かして地域の諸団体と協働し、地域を豊かにする社会活動に積極的に取り組んでいくなどを通して、私たち高齢者に期待されている世代間の役割分担にも積極的に応えていく。

１　高齢者の健康づくり・生きがいづくりに関する事業
２　老人クラブの強化育成に関する事業
３　高齢者の福祉の増進のための人材育成及び普及啓発に関する事業
４　市町老人クラブ連合会及び諸団体等との相互の情報交換、連携強化に関する事業
５　高齢者問題に関する調査・研究事業

第２　重点事業

『２０２５年度　県老連　懸案事項』（単位クラブ補助金活用事例・モルック大会の取扱い）
※　別紙参照

第３　事業内容

（１）スポーツ・健康づくり

ア　第１３回グラウンド・ゴルフ県大会（県老連と淡路ブロックの共催）

（ア）期　日：　令和７年（２０２５年）〇〇月〇〇日（〇）
＜予備日：同年〇〇月〇日（〇）＞

（イ）会　場：　〇〇〇（〇〇市）

イ　第３回モルック県大会

（ア）期　日：　令和７年（２０２５年）１１月　＜調整中：予備日なし＞
（イ）会　場：　「〇〇〇」※　調整中

（２）研修

ア　市町老連会長研修会

（ア）期　日：２０２５年（令和７年）６月５日（木）～６日（金）
（イ）会　場：神戸三宮東急ＲＥＩホテル
（ウ）内　容：基調報告、グループ討議、全体会、音楽療法、モルック講習会

イ　女性・若手リーダー研修会（拡大４ブロック）

ブロック	開催日時	開　催　会　場
阪神南・阪神北	７月　３日（木）	芦屋市民センター本館４階４０１
東播磨・北播磨・淡路	７月１０日（木）	加古川市総合福祉会館
中播磨・西播磨	７月１７日（木）	たつの市福祉会館
但馬・丹波	７月２４日（木）	養父市八鹿老人福祉センター

ウ　新任会長・新任事務局長（担当者）等研修会

市町老連の新任会長・事務局長（担当者）を対象に、兵庫県の補助金や県老連の事業計画等について説明する。

（３）表彰・感謝

ア　県老連会長表彰

①　老人クラブ育成功労者
②　優良老人クラブ
③　優良市町老人クラブ連合会
④　仲間づくり優良老人クラブ、市町老人クラブ連合会
⑤　市町老連永年勤続職員
⑥　感謝（協力者）

イ　全老連会長表彰

①　老人クラブ育成功労者
②　女性リーダー老人クラブ育成功労表彰
③　若手リーダー老人クラブ育成功労表彰
④　優良老人クラブ及び優良市町老人クラブ連合会
⑤　永年勤続職員

≪全老連会長表彰の優良老人クラブ及び優良市町老連推薦予定ブロック≫
西播磨・但馬・丹波・淡路

（４）被災地支援

ア　県老連が阪神・淡路大震災で支援に対する感謝の思いは決して忘れないこと。
イ　東日本大震災への支援は、発災１０年間で一定の区切りとしたが、その後も交流が続く、福島県大熊町・双葉町老連への支援を継続する。
ウ　ただし、東日本大震災のような阪神・淡路大震災を超える大規模被害が発生した場合は、県老連として可能な限りの支援を行うこと。

（５）社会貢献

ア　友愛活動（訪問活動）
イ　地域の子どもの見守り、育児や子育て支援活動
ウ　美化・環境にやさしい活動
エ　消費者被害・詐欺対策、防犯
オ　交通安全指導

（６）情報発信

ア　広報紙「きずな」の発行（１０月・３月：各８万５千部）
イ　ホームページによる広報・情報発信

（７）予算要望

ア　知事への予算要望（９月頃）
イ　県議会（自民党県議団）への要望（９月頃）

（８）サポーター（活動応援団）

「のじぎくクラブ兵庫サポーター制度」の充実

（９）役員会等（役員会・委員会の開催・諮問委員会）

ア　評議員会　　定例会２回
イ　正副会長会　　定例会４回程度
ウ　理事会　　定例会４回程度
エ　監事監査　　１回
オ　女性・若手委員会　　３～５回程度
カ　諮問委員会（必要に応じ設置）

(10) 事務局強化

事務局会議（ブロック・市町老連の事務局長・担当者会議）令和８年２月開催

(11) 資料作成

ア　老人クラブ活動提要（関係資料集）＜毎年制作＞
イ　老人クラブ便覧＜隔年制作：前回は２０２３年度＞　２０２５年度作成

２　ブロック・市町老連との協働

（１）第２次県老連改革に基づく新助成金制度の継続（４年目）

（２）事務手数料の助成（根拠：事務手数料交付規程）

県老連の運営に係る事務処理を円滑に行うため、市町老人クラブ連合会に対し、本会事務に要する経費の一部を助成する。

３　県との協働

（１）協働事業

第３７回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜２０２５）

（ア）日　程：２０２５年（令和７年）１０月１７日（金）～１９日（日）＜前泊を含む＞

（イ）開催地：総合開会式・・・・・岐阜メモリアルセンター長良川競技場（岐阜市）

ウォークラリー・・・岐阜県美濃市（美濃市街地特設コース）

（２）受託事業

兵庫県高齢者の集い（令和７年９月中旬頃）

（３）啓発事業

ア　高齢者の特殊詐欺被害防止への取組み

イ　高齢者の交通事故防止対策

（４）協力連携

県及び関係団体が主宰する福祉・保健・健康・医療・交通安全等、高齢者に関する審議会・協議会等への参画

４　全老連等との協働

（１）第５４回全国大会

ア　日　程：２０２５年（令和７年）１１月４日（火）～６日（木）＜前泊を含む＞

イ　開催地：茨城県水戸市（「水戸市民会館」）

（２）表彰

全老連会長表彰等の実施

（３）協働事業

「老人の日（９月１５日）・老人週間（９月１５日～２１日）」は、老人クラブが展開する「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動の中心的な取り組みとして諸活動を行う。

また、老人週間を契機に、全国一斉の「社会奉仕の日（９月２０）日」においては、関係諸団体と連携を図りながら、公園や公共施設での清掃、花づくり等の美化や資源ごみの回収などの環境にやさしい活動に取り組む。

（４）助成事業

みずほ教育福祉財団助成事業『老人クラブが取り組む地域のフレイル予防』＜Ｒ６～８＞

（５）会員章

老人クラブ会員章の普及

（６）老人クラブ傷害保険・賠償責任保険への加入促進

５　近畿老連協議会との協働

（１）近畿老人クラブ連絡協議会

ア　第１回定例会（会長・事務局長出席）

（ア）期　日：２０２５年（令和７年）４月２５日（金）

（イ）会　場：大阪市立社会福祉センター（大阪市）

イ　第２回定例会（事務局長出席）

（ア）期　日：２０２５年（令和７年）８月８日（金）

（イ）会　場：　「和歌山ビッグ愛」

ウ　第３回定例会（会長・事務局長出席）

（ア）期　日：未定（令和８年２月頃）＜調整中＞

（イ）会　場：大阪府老連　調整中

（２）近畿ブロック老人クラブリーダー研修会（神戸市開催）

ア　期　日：２０２５年（令和７年）６月２６日（木）

イ　会　場：神戸市産業振興センター

６　他府県老連との協働（交流会）

（１）大阪府老連女性委員会との交流会【第９回】

大阪府で１２月頃開催予定

（２）京都府老連女性委員会との交流会【第６回】

京都府県で１１月頃開催予定

『２０２５年度（令和７年度）県老連 懸案事項』

１　単位クラブ補助金活用事例

（１）単位クラブ補助金の現状について

①　本県の単位クラブ補助金は、近畿ブロックの中でも突出しており、また、全国屈指の高水準である。【別添－１：Ｐ２０参照】

②　これを受け、県から、令和４年度からの見直し提案（９０，０００円→８４，０００円）があったが、県議会や県内市町等からの意見もあり、１年延期となった。
　その後、令和４年１０月の知事と県老連会長との面談により、令和５年度～令和７年度の３年間は、補助額は従前どおりで、かつ、コロナ禍における地域課題や会員獲得などの課題に対応できるように、支援対象が拡充することとなった。【別添－２：Ｐ２１参照】

③　２０２５年度（令和７年度）は、３年間の最終年度であり、２０２６年度（令和８年度）以降の『支援対象等の検討』を行う予定となっている。

（２）県老連としての取り組み

ア　県老連としては、補助金支援対象の拡大により、どのような成果があったかを取りまとめ、
主管課である高齢政策課あて報告を行う必要がある。

イ　しかしながら、各単位クラブが、補助金の支援対象拡大を踏まえ、日頃の老人クラブ活動に取り組んでいるとは想定しにくいため、補助金を『会員加入促進活動』に特化して、その成果事例を取りまとめることとしたい。

ウ　ついては、２０２５年２月の理事会及び評議員会で、各市町老連会長に対し、取り組みの趣旨説明を行った上で、成果事例の報告を求め、さらに、６月に開催する市町会長研修会において、取り組み成果の検証と深掘りを行った上で、高齢政策課あて報告することとしたい。

（３）２０２５年度（令和７年度）における兵庫県の見直しの動き

ア　県政改革課によるヒアリング工程
　２０２５年（令和７年）７月～９月

イ　財政課によるヒアリング工程
　２０２５年（令和７年）１０月～２０２６年（令和８年）１月

２　モルック県大会

（１）これまでの経緯

コロナ禍では、老人クラブの多くの活動が自粛を余儀なくされ、２０２０年度（令和２年度）に予定していたウォークラリー神河町大会（中播磨ブロック）については、地元開催地の新型コロナウイルス感染懸念への配慮から中止としたところである。

これを踏まえ、県老連が実施する２大健康・スポーツ大会のうち、今後３年間（令和５年年度～令和７年度）を目途として、「ウォークラリー大会」に代えて、「モルック」を代替大会として実施している。

【参　考】ウォークラリー大会とモルック大会
２０２１年度（令和３年度）　ウォークラリー大会（西宮市）
２０２２年度（令和４年度）　ウォークラリー大会（丹波篠山市）
２０２３年度（令和５年度）　全県講習会兼第１回モルック県大会（神河町）
２０２４年度（令和６年度）　第２回モルック県大会（三木市）

（２）モルックの特徴及び現状

ア　ルールが平易であり、かつ、用具も低廉であり、誰でもすぐに参加できるスポーツである。

イ　また、体力も特に要しないため、年齢や世代に関わらず取り組むことができ、多世代交流のツールとしても活用できる。

ウ　第１回モルック大会の優勝副賞が、モルック世界大会への招待という特典を設けたことから、多くの老人クラブ会員の興味・関心を引き、県下多くの地域で、モルック用具の購入・研修会の実施、モルック大会の実施など、競技の関心が飛躍的に高まっている。

（３）県老連スポーツ大会の人的スタッフ及び経費面

ア　ウォークラリー大会及びグラウンド・ゴルフ大会

ウォークラリーとグラウンド・ゴルフ大会は、県下の各ブロック持ち回りで開催している。

また、多くの会員が参加する大規模大会であるため、大会開催地の市町老連をはじめブロック内の役員・若手委員等に多大のご協力を賜っている。

（【参考】ウォークラリー大会及びグラウンド・ゴルフ大会５０名～８０名程度）

イ　モルック大会

県老連主催であり、コート設営及び運営・審判等については、日本モルック協会公認団体等から１０名程度のスタッフを配置している。

このため、大会開催地で約１０名、開催地ブロックの市町事務職員の合計１５名程度のスタッフのご協力で済んでおり、地元市町老連やブロックの負担がかなり軽減されてる。

ウ　経費面

ウォークラリー大会及びグラウンド・ゴルフ大会に比べ、概ね、モルック大会では、４００千円の費用低減効果がある。

（４）ご意見をお伺いしたい内容

『３年間代替期間終了後のモルック県大会について』

【参　考】

２０２６年度以降の大会実施は、これまでの３年間の開催実績を踏まえ、最終的には、理事会でご決定をいただくこととなりますが、県老連事務局と致しましては、モルック大会を恒久的な大会とし、ウォークラリーは、状況に応じ開催する（数年に一度）という方針を希望致しております。